

「第3回 新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」  
(2020年12月実施)

【スクリーニング調査】

QS1 あなたの性別はどちらですか。  
(回答は1つ)

1. 男性
2. 女性

QS2 **本年(2020年)4月1日時点**の、あなたの年齢をお答えください。  
(回答は半角数字で入力)

満  歳

QS3 **本年(2020)4月1日時点**で、あなたは次の要件 **すべて** に該当していましたか。  
(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 国内に在住していた
- (2) 「民間企業(公務等以外)で働く会社員(役員を除く)」、または「自営業主(内職を含む、農林漁業を除く)」だった

===== 選択肢 =====

1. はい
  2. いいえ
- ⇒いずれか「いいえ」で調査終了

QS4 **本年4月1日時点**であなたが現在居住されていた地域をお答えください。  
(回答は1つ)

プルダウンメニューで47都道府県(番号:1~47) + 海外(番号:48)をリスト表示

⇒海外在住は調査終了

QS5 **次の各時点**における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。  
(それぞれ回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、  
シルバー人材等、呼称を問いません。

QS2 p.20~64  
QS3 Q(1)~(2) p.1  
QS4 p.1~47  
QS5

----- 項目 -----

- (1) 本年 3 月 1 日時点
- (2) 本年 4 月 1 日時点
- (3) 本年 5 月末時点
- (4) 本年 6 月末時点
- (5) 本年 7 月末時点

-----選択肢-----

- 1.正社員（役員を除く）
- 2.パートタイマー
- 3.アルバイト
- 4.契約社員
- 5.派遣労働者
- 6.嘱託
- 7.自営業（※）・内職
- 8.家業の手伝い
- 9.その他の仕事 具体的に：
- 10.働いておらず、求職活動をしていた
- 11.働いておらず、求職活動もしていなかった

※これ以降  
1～6 と回答した者を〈雇用者〉  
7 を〈自営業等〉という。

QS5 の(2)の〈自営業等〉は QS6

QS6 本年 4 月 1 日時点で、あなたはご自身の店舗をかまえて、商品やサービスの販売、飲食の提供などを行う「店主・経営者」でしたか。また、あなたが雇用主となって、従業員を使用していましたか。

（それぞれ回答は1つ）

----- 項目 -----

- (1) 店主・経営者でしたか
- (2) 従業員を使用していましたか

-----選択肢-----

- 1. はい
- 2. いいえ ※

⇒いずれか「はい」で調査終了

※これ以降、QS6 の(1)～(2)でともに 2 を  
〈フリーランス〉という。

QS5 の(2)の〈雇用者〉は QS7

QS7 本年 4 月 1 日時点の、あなたの勤め先の主な業種をお答えください。

（回答は1つ）

※派遣労働者の方は、派遣先の会社についてお答えください。

- 1. 建設業

2. 製造業
3. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業
5. 運輸業
6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業
8. 不動産業
9. 飲食店、宿泊業
10. 医療、福祉
11. 教育、学習支援業
12. 郵便局・協同組合
13. サービス業
14. その他の業種
15. わからない

QS8 **本年4月1日時点**のあなたの勤め先の、企業全体の従業員規模をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は **派遣先の会社** についてお答えください。

1. 9人以下
2. 10～29人
3. 30～99人
4. 100～299人
5. 300～499人
6. 500～999人
7. 1,000～2,999人
8. 3,000人以上
9. わからない

QS9 **本年4月1日時点**の勤め先で、あなたが従事していた主な業種をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は **派遣先の会社等** についてお答えください。その他の方は、雇われて働いている会社等についてお答えください。

1. 管理職（課長クラス以上）

2. 専門・技術職
3. 事務職
4. 営業・販売職
5. サービス職
6. 保安・警備職
7. 生産技能職
8. 輸送・機械運転職
9. 建設作業・採掘職
10. 運搬・清掃・包装作業
11. その他 具体的に：
12. わからない

《職種分類の例》

<b>管理職</b>	例：課長、部長、支店長、工場長など
<b>専門・技術職</b>	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
<b>事務職</b>	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
<b>営業・販売職</b>	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
<b>サービス職</b>	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
<b>保安・警備職</b>	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
<b>生産技能職</b>	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
<b>輸送・機械運転職</b>	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
<b>建設作業・採掘職</b>	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積

	工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
<b>運搬・清掃・包装作業</b>	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
<b>その他</b>	例：農・林・漁業の作業員、上記の選択肢以外の職種

QS9\_1 **本年4月1日時点**の、あなたの仕事（事業活動）の主な職種をお答えください。

（回答は1つ）

1. 専門・技術職
2. 事務職
3. 営業・販売職
4. サービス職
5. 保安・警備職
6. 生産技能職
7. 輸送・機械運転職
8. 建設作業・採掘職
9. 運搬・清掃・包装作業
10. その他 具体的に：
11. わからない

《職種分類の例》

<b>専門・技術職</b>	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、（准）看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
<b>事務職</b>	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
<b>営業・販売職</b>	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
<b>サービス職</b>	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ

	配達員など
<b>保安・警備職</b>	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
<b>生産技能職</b>	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
<b>輸送・機械運転職</b>	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
<b>建設作業・採掘職</b>	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
<b>運搬・清掃・包装作業</b>	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
<b>その他</b>	例：農・林・漁業の作業員、上記の選択肢以外の職種

【本調査】

Q1 **次の各時点**における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

===== 項目 =====

- (1) **本年 8 月末時点**
- (2) **本年 9 月末時点**
- (3) **本年 10 月末時点**
- (4) **本年 11 月末時点**
- (5) **現在**

===== 選択肢 =====

- 1. 正社員 (役員を除く)
- 2. パートタイマー
- 3. アルバイト
- 4. 契約社員
- 5. 派遣労働者
- 6. 嘱託
- 7. 自営業 (※)・内職
- 8. 家業の手伝い
- 9. その他の仕事 具体的に：
- 10. 働いておらず、求職活動をしていた (している)
- 11. 働いておらず、求職活動もしていなかった (していない)

Q55 Q(2)の「雇用者」かQ1 Q(5)の1~6

Q2 **本年 4 月 2 日以降、現在までに**、あなたは転職していますか。

(回答は1つ、転職月は半角数字を入力)

- 1. 転職していない (**本年 4 月 1 日時点と同じ会社** で働いている)
- 2. 転職している (**本年 4 月 1 日時点とは別の会社** で働いている) ⇒別の会社に入社したのは  ⇒※以降、就労状況等については、お伺いする質問については、あなたが「各時点で働いていた (働いている) 会社」でのことをお答えください。

Q2 の 1 と Q3

Q3 あなたの仕事の内容は、本年4月1日時点と同じですか。  
 (回答は1つ、仕事の内容が変わった月は半角数字を入力)

1. 同じ (本年4月1日時点と同じ仕事をしている)
2. 異なる (本年4月1日時点とは異なる仕事をしている) ⇒仕事の内容が変わったのは

Q3と2はQ3\_1

Q3\_1 Q3で「異なる」とお答えの方におたずねします。  
現在、あなたが従事している主な職種をお答えください。  
 (回答は1つ)

1. 管理職 (課長クラス以上)
2. 専門・技術職
3. 事務職
4. 営業・販売職
5. サービス職
6. 保安・警備職
7. 生産技能職
8. 輸送・機械運転職
9. 建設作業・採掘職
10. 運搬・清掃・包装作業
11. その他 具体的に：
12. わからない

《職種分類の例》

専門・技術職	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
事務職	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
営業・販売職	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
サービス職	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイト



	レス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
<b>保安・警備職</b>	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
<b>生産技能職</b>	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
<b>輸送・機械運転職</b>	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
<b>建設作業・採掘職</b>	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
<b>運搬・清掃・包装作業</b>	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
<b>その他</b>	例：農・林・漁業の作業員、上記の選択肢以外の職種

**Q4** 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、新型コロナウイルス感染症に関連して、あなたの雇用や収入に関わる影響がありましたか。

(回答は1つ)

1. 大いに影響があった
2. ある程度、影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった
5. わからない

**Q4\_1** 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、新型コロナウイルス感染症に関連して、あなたの仕事（事業活動）や収入に関わる影響がありましたか。

(回答は1つ)

1. 大いに影響があった
2. ある程度、影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった

Q56(2)の「雇用者」はQ4

Q56の「フリーランス」はQ4\_1

5. わからない

Q4の1～3はQ5

Q5 **新型コロナウイルス感染症に関連した、あなた自身への具体的な影響について、当てはまるものをすべて選んでください。**

(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生以降これまでに、あなた自身に生じたすべての影響

(2) 上記のうち、現時点で継続している影響

===== 選択肢 =====

1. 会社からの解雇
2. 期間満了に伴う雇い止め
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業
4. 雇用・就業形態の変更
5. 業務内容の変更
6. 勤務日数や労働時間の減少（休業を含む）
7. 勤務日数や労働時間の増加
8. 収入の減少
9. 収入の増加
10. 自発的な退職
11. (左記に) 当てはまるものはない具体的に:
12. 答えたくない

Q5の(2)は<雇用者>はQ6

Q6 **次の各時点における、あなたの1週間あたりのおおよその実労働時間（残業を含めて、実際に働いた時間）をお答えください。**

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

(1) 8月の最終週(8月25～31日)（緊急事態宣言の解除から3カ月後）の 週あたり 実労働時間

(2) 9月の最終週(9月24～30日) の 週あたり 実労働時間

(3) 10月の最終週(10月25～31日) の 週あたり 実労働時間

(4) 11月の最終週(11月24～30日) の 週あたり 実労働時間

===== 選択肢 =====

1. 0 時間（働いていない）
2. 15 時間未満
3. 15 時間以上、20 時間未満

4. 20 時間以上、25 時間未満
5. 25 時間以上、30 時間未満
6. 30 時間以上、35 時間未満
7. 35 時間以上、40 時間未満
8. 40 時間以上、45 時間未満
9. 45 時間以上、50 時間未満
10. 50 時間以上、55 時間未満
11. 55 時間以上、60 時間未満
12. 60 時間以上

Q5 の(2)の「雇用者」は Q7

**Q7** 次の各時点における、あなたの税込みの月収をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 8月に働いた分の月収
- (2) 9月に働いた分の月収
- (3) 10月に働いた分の月収
- (4) 11月に働いた分の月収 (見込み)

===== 選択肢 =====

1. なし
2. 5 万円未満
3. 5 万円以上、10 万円未満
4. 10 万円以上、15 万円未満
5. 15 万円以上、20 万円未満
6. 20 万円以上、25 万円未満
7. 25 万円以上、30 万円未満
8. 30 万円以上、35 万円未満
9. 35 万円以上、40 万円未満
10. 40 万円以上、45 万円未満
11. 45 万円以上、50 万円未満
12. 50 万円以上
13. 答えたくない

Q5 の(2)の「雇用者」かつ Q1 の(5)の1～6は Q8

**Q8** 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の、もともと（通常月）の月収と比較して、あなたの 直近の月収はどうなりましたか。

(回答は1つ)

※働いて得た収入のみとします。

【減少した】

1. 1～2割
2. 3～4割
3. 5～6割
4. 7～8割
5. 9割以上

【増加した】

6. 1～2割
7. 3～4割
8. 5割以上
9. ほぼ同じ（変動は1割未満）

Q9 あなたの冬季賞与（特別手当）の支給状況を教えてください。  
（回答は1つ）

1. 昨年も、本年も支給あり
2. 去年はあったが、本年は支給無し
3. 去年はあったが、本年は未定・わからない
4. 去年はなかったが、本年は支給あり
5. 昨年も本年も、支給無し
6. 去年はなかったが、本年は未定・わからない

Q10 Q9で「昨年も、本年も支給あり」とお答えの方におたずねします。  
昨年の支給額と比較して、**本年**の冬季賞与（特別手当）の支給額はどうなりましたか（どうなる見込みですか）。  
（回答は1つ）

【減少した（する）】

1. 1～2割
2. 3～4割
3. 5～6割
4. 7～8割
5. 9割以上

Q5の(2)の「雇用者」かつQ1の(5)の1～6はQ9

Q9の1はQ10

【増加した（する）】

- 6. 1～2 割
- 7. 3～4 割
- 8. 5 割以上
  
- 9. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）
- 10. 未定・わからない

Q11 政府や自治体の要請に基づき、あるいは自主的に、あなたが勤めている会社（事業所・工場・店舗）は、以下の対応を行いましたか（行っていますか）。

（回答はいくつでも）

===== 項目 =====

- （1）新型コロナ問題の発生以降、これまでに行われたすべての対応
- （2）上記のうち、現在でも、継続して行われているもの

===== 選択肢 =====

- 1. 休業（閉鎖、閉店等）や休業日数の拡大
- 2. 営業時間の短縮
- 3. 一時帰休
- 4. 出勤日数の削減（例：交替で週 2 日勤務等）
- 5. 有給休暇の取得促進
- 6. 在宅勤務・テレワークの実施
- 7. サテライトオフィスなど勤務場所の変更
- 8. 通勤方法の変更（公共交通機関の利用制限等）
- 9. 時差出勤
- 10. 仕事の削減
- 11. WEB 会議、TV 会議の活用
- 12. 出張の中止・制限
- 13. 転勤の停止・中止
- 14. 他社への派遣
- 15. イベントや集会、会議、懇談会などの中止・自粛
- 16. 咳や発熱などの症状がある人への適切な対応（特別休暇の付与、出勤停止など）
- 17. マスク・アルコール消毒用品、フェイスシールドの使用・配備
- 18. その他 具体的に：
- 19. 特にない

Q12 Q11 で「在宅勤務・テレワークの実施」を選択された方におたずねします。

Q55 の(2)と〈雇⽤者〉は Q11

Q11 の(1)と 6 は Q12

**次の各時点**における、あなたの1週間あたりの「在宅勤務・テレワーク」勤務日数をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 8月の最終週(8月25～31日) (緊急事態宣言の解除から3カ月後)の 週あたり 在宅・テレワーク勤務日数
- (2) 9月の最終週(9月24～30日) の 週あたり 在宅・テレワーク勤務日数
- (3) 10月の最終週(10月25～31日) の 週あたり 在宅・テレワーク勤務日数
- (4) 11月の最終週(11月24～30日) (緊急事態宣言の解除から半年後)の 週あたり 在宅・テレワーク勤務日数

===== 選択肢 =====

1. 1～2日
2. 3日
3. 4日
4. 5日(以上)
5. 行っていない

**Q13** (現在の会社に限らず) あなたのこれまでの在宅勤務・テレワーク経験についてお答えください。

(回答は1つ)

※1日でも実施していれば、「行っている」としてください。

1. 本年2月以前 から経験があり、現在も 行っている
2. 本年2月以前 から経験があるが、現在は 行っていない
3. 3～5月に初めて 経験し、現在も 行っている
4. 3～5月に初めて 経験したが、現在は 行っていない
5. 6月以降に初めて 経験し、現在も 行っている
6. 6月以降に初めて 経験したが、現在は 行っていない
7. これまでに一度も、経験したことがない

**Q14** Q13で「2月以前から経験があり、現在も行っている」「3～5月に初めて経験し、現在も行っている」とお答えの方におたずねします。

あなたが直近1カ月間に行った在宅勤務・テレワークの日数は、新型コロナウイルス感染拡大期(3～5月の月間平均)と比較して、どうなりましたか。

(回答は1つ)

Q13(5)と1～6はQ13

Q13と1,3はQ14

直近1カ月間の在宅勤務・テレワーク日数は、

1. 新型コロナウイルス感染拡大期より、かなり減少した
2. 新型コロナウイルス感染拡大期より、やや減少した
3. ほぼ同じ
4. 新型コロナウイルス感染拡大期より増加した

**Q15** Q13で「現在は行っていない」とお答えの方におたずねします。

**あなたが現在、勤めている会社は、在宅勤務・テレワークを行っていますか。また、あなたの現在の仕事は、在宅勤務・テレワークの対象となっていますか。**

(回答は1つ)

1. 会社は在宅勤務・テレワークを行っており、私の仕事も対象となっている
2. 会社は在宅勤務・テレワークを行っているが、私の仕事は対象となっていない
3. 会社はそもそも、在宅勤務・テレワークを行っていない

**Q16** Q14で「新型コロナウイルス感染拡大期より、減少した」とお答えの方におたずねします。

**あなたの在宅勤務・テレワーク日数が、新型コロナウイルス感染拡大期より減少しているのはなぜですか。**

(回答はいくつでも)

環境

1. 緊急事態宣言が解除されたから
2. 感染リスク、感染不安が低下したから
3. 在宅勤務・テレワークを行う場所や環境が整っていないから（仕事に集中しづらいから、を含む）

会社の指示や制度

4. 出勤抑制の会社指示が解除・緩和されたから
5. 新型コロナウイルス感染拡大期の在宅勤務・テレワークは、ほとんど「自宅待機」（仕事はしていない）だったから
6. 在宅勤務・テレワークの利用制限（日数等）が設けられたから
7. 在宅勤務・テレワークは、インターネット通信料や電話料金、光熱費等がかかるから（自身の持ち出しになるから）

仕事内容

8. 在宅勤務・テレワークのできる仕事が、限られるから（顧客対応や特殊なシステム、紙ベース等、出社しなければできない仕事があるから）
9. 報告・相談や社内調整・連携等、出社した方が仕事がスムーズだから  
人間関係や職場の雰囲気
10. 上司等に、在宅勤務・テレワークの希望を申請しにくいから
11. 上司等に働きぶりが見えず、サボっていると思われそうだから
12. 職場の人間関係やコミュニケーションが不安だから
13. 現場等から、在宅勤務・テレワークに対する批判があるから
14. 皆が出社しているから（なんとなく）

健康

15. 在宅勤務・テレワークは、長時間労働になりがちだから
16. 運動不足になるから、気分が落ち込むなど健康に悪いから
17. その他 具体的に：

**Q16\_1** Q13で「テレワークは経験したが、現在は行っていない」、Q15で「会社は在宅勤務・テレワークを行っており、私の仕事も対象となっている」とお答えの方におたずねします。  
**あなたが、在宅勤務・テレワークを行わなくなったのは、なぜですか。**  
(回答はいくつでも)

環境

1. 緊急事態宣言が解除されたから
2. 感染リスク、感染不安が低下したから
3. 在宅勤務・テレワークを行う場所や環境が整っていないから（仕事に集中しづらいから、を含む）

会社の指示や制度

4. 出勤抑制の会社指示が解除・緩和されたから
5. 新型コロナウイルス感染拡大期の在宅勤務・テレワークは、ほとんど「自宅待機」（仕事はしていない）だったから
6. 在宅勤務・テレワークの利用制限（日数等）が設けられたから
7. 在宅勤務・テレワークは、インターネット通信料や電話料金、光熱費等がかかるから（自身の持ち出しになるから）



仕事内容

- 8. 在宅勤務・テレワークのできる仕事が、限られるから（顧客対応や特殊なシステム、紙ベース等、出社しなければできない仕事があるから）
- 9. 報告・相談や社内調整・連携等、出社した方が仕事がスムーズだから

人間関係や職場の雰囲気

- 10. 上司等に、在宅勤務・テレワークの希望を申請しにくいから
- 11. 上司等に働きぶりが見えず、サボっていると思われそうだから
- 12. 職場の人間関係やコミュニケーションが不安だから
- 13. 現場等から、在宅勤務・テレワークに対する批判があるから
- 14. 皆が出社しているから（なんとなく）

健康

- 15. 在宅勤務・テレワークは、長時間労働になりがちだから
- 16. 運動不足になるから、気分が落ち込むなど健康に悪いから
- 17. その他 具体的に：

**Q17** あなたが直近、テレワークを行っている、あるいは行っていた時点の仕事の状況についてお答えください。それぞれの項目にどの程度、当てはまりますか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) あなたがテレワークにより業務を行うかどうかについて、勤め先はあなたの意思を尊重してくれている
- (2) あなたの仕事はマニュアル等で基本的なやり方が決まっている
- (3) 仕事を進める上で、対面でのコミュニケーションを行うことが重要な仕事である
- (4) デスクワークが中心の仕事ではなく、現場業務が中心の仕事である
- (5) あなたが日々業務を進める上で、担当する業務の範囲や期限は上司などから明確に伝えられている
- (6) 達成すべき目標の水準など、仕事（成果）の評価基準が明確に定められている
- (7) 業務内容について上司が逐一細かく指示をするのではなく、仕事を進める上での裁量がある
- (8) 今の会社でのあなたの仕事が、雇用契約の際（入職時）に、職務記述書などによって明確に限定されている
- (9) あなたの事業所において欠員を補充する際、新卒採用ではなく中途採用による補充が中心である
- (10) あなたの勤め先は定年まで働く人が多い

Q13～16 併 Q17

- (1 1) 様々な仕事に異動するのではなく、1つの仕事に限定して働いている
- (1 2) 教育訓練については、あなたの会社が提供するのではなく、社外で自ら学ぶことが中心である

=====選択肢=====

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかという当てはまる
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかという当てはまらない
- 5. 当てはまらない

**Q17\_1** あなたの **現在** の仕事の状況についてお答えください。それぞれの項目にどの程度、当てはまりますか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 【非表示】あなたがテレワークにより業務を行うかどうかについて、勤め先はあなたの意思を尊重してくれている
- (2) あなたの仕事はマニュアル等で基本的なやり方が決まっている
- (3) 仕事を進める上で、対面でのコミュニケーションを行うことが重要な仕事である
- (4) デスクワークが中心の仕事ではなく、現場業務が中心の仕事である
- (5) あなたが日々業務を進める上で、担当する業務の範囲や期限は上司などから明確に伝えられている
- (6) 達成すべき目標の水準など、仕事（成果）の評価基準が明確に定められている
- (7) 業務内容について上司が逐一細かく指示をするのではなく、仕事を進める上での裁量がある
- (8) 今の会社でのあなたの仕事が、雇用契約の際（入職時）に、職務記述書などによって明確に限定されている
- (9) あなたの事業所において欠員を補充する際、新卒採用ではなく中途採用による補充が中心である
- (1 0) あなたの勤め先は定年まで働く人が多い
- (1 1) 様々な仕事に異動するのではなく、1つの仕事に限定して働いている
- (1 2) 教育訓練については、あなたの会社が提供するのではなく、社外で自ら学ぶことが中心である

=====選択肢=====

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかという当てはまる

3. どちらともいえない
4. どちらかという当てはまらない
5. 当てはまらない

**Q18** テレワークを行う上での環境等についてお答えください。  
(それぞれ回答は1つ)

※現在、行っていない場合は「過去、テレワークを行っていた時」のことを思い出してお答えください。

===== 項目 =====

- (1) 上司は自分に仕事のやり方を任せてくれる (業務方針についての裁量がある)
- (2) 仕事の進め方について上司や部下とのコミュニケーションがうまくとれていると思う
- (3) 職場の人と、雑談など仕事以外のコミュニケーションがうまくとれていると思う
- (4) 自分は今の仕事に十分に習熟していると思う
- (5) テレワーク時に同居家族がいることで業務に支障が出ている  
※同居家族がいない方は「当てはまらない」にしてください
- (6) 自宅以外の場所 (サテライトオフィスやカフェ等) でテレワークすることもある
- (7) テレワーク時の設備 (インターネット環境やテレワークで利用する PC の性能等) は充実している

===== 選択肢 =====

1. 当てはまる
2. どちらかという当てはまる
3. どちらともいえない
4. どちらかという当てはまらない
5. 当てはまらない

**Q19** 次の各項目について、オフィスのみで働く場合を 100 として、テレワークを行うことによる変化を 0~200 の範囲でお答えください。例えば、テレワークを行うことで仕事の生産性・効率性が 1.3 倍になれば『130』、半分になれば『50』とご記入ください。

(数字を入力)

1. 仕事の生産性・効率性
2. ワークライフバランスの実現度
3. 仕事を通じた充実感・満足感

Q4\_1の1~3はQ20

**Q20** 新型コロナウイルス感染症に関連した具体的な影響について、当てはまるものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生以降これまでに、あなた自身に生じたすべての影響

(2) 上記のうち、現在でも、継続して影響があるもの

=====選択肢=====

1. 業績への影響（売上高・収入の減少）
2. 業績への影響（売上高・収入の増加）
3. 既に受注していた仕事の中止や延期
4. 事業活動（生産、営業・販売、サービス）の抑制や休止
5. （接待自粛や納入遅れ等による）取引先との関係悪化
6. 新規受注や顧客の減少、消失
7. 新規受注や顧客の増加
8. 取引先の事業の休止・縮小や倒産
9. 物流の停滞・寸断や仕入れ価格の上昇等に伴う商品や材料等の調達困難
10. 納品や工期の遅延と対応
11. 海外渡航禁止や帰国指示、外出自粛要請等に伴う移動困難
12. 賃料負担等に伴う事業所の閉鎖や就労場所の変更
13. 資金繰りの悪化、廃業危機
14. 取引先の在宅勤務・テレワーク化に伴う対応負担の増加
15. 「一斉休校」や「分散登校」「短縮授業」などに伴う仕事との両立・調整
16. 感染予防など衛生管理負担の増加
17. その他 具体的に：
18. 特にない

**Q21** 次の各時点における、あなたの1週間あたりのおおよその実労働時間（残業を含めて、実際に働いた時間）をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

(1) 8月の最終週（8月25～31日）（緊急事態宣言の解除から3カ月後）の週あたり実労働時間

(2) 9月の最終週（9月24～30日）の週あたり実労働時間

Q56のヘッリーランスはQ21

(3) 10月の最終週(10月25～31日)の週あたり実労働時間

(4) 11月の最終週(11月24～30日)の週あたり実労働時間

-----選択肢-----

1. 0 時間 (働いていない)
2. 15時間未満
3. 15時間以上、20時間未満
4. 20時間以上、25時間未満
5. 25時間以上、30時間未満
6. 30時間以上、35時間未満
7. 35時間以上、40時間未満
8. 40時間以上、45時間未満
9. 45時間以上、50時間未満
10. 50時間以上、55時間未満
11. 55時間以上、60時間未満
12. 60 時間以上

Q56 は フリーランス は Q22

**Q22** 新型コロナウイルス感染症の影響（東京オリンピック・パラリンピックの延期含む）で、あなたの仕事（事業活動）の8～11月の売上高はどうなりましたか。  
 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の通常月の売上高を100とした数値で、お答えください。

（半角数字で入力）

記入例)

8月分の売上高が通常月の20%減の場合⇒80と記入  
 9月分の売上高が通常月の15%増の場合⇒115と記入  
 新型コロナ問題が発生する前の通常月の売上高=100

- (1) 8月分の売上高
- (2) 9月分の売上高
- (3) 10月分の売上高
- (4) 11月分の売上高

Q22 の (4) は < 100 は Q23

**Q23** あなたの仕事（事業活動）の売上高が、新型コロナウイルス感染症の問題の影響を受ける前の水準に戻るのには、いつ頃になるとお考えですか。  
 （回答は1つ）

1. 2021年（来年）の前半
2. 2021年（来年）の後半
3. 2022年（再来年）以降
4. （影響前の水準には戻らだろうが）時期は不明
5. もう、影響前の水準に戻ることはない

**Q24** 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、フリーランスとして働く中で、あなたは次のような経験をしましたか。

（回答はいくつでも）

1. 仕事（受注）がまったく無い状態（開店休業）になった
2. 政府や自治体の助成金等を受け取った
3. 売掛金（一部を含む）が回収不能になった
4. 仕事の運転資金が不足し、銀行や消費者金融等から新たな借入れを行った
5. 仕事の運転資金を確保するため、自身や家族等の預貯金を取り崩した
6. 仕事の運転資金を確保するため、自身や家族等の生活費を抑制した
7. 取引先から信用力を疑われ、事業運営に支障を来した
8. 今後の事業拡張や設備投資の計画を縮小・断念した
9. 仕事用の事務所の家賃やテナント料を滞納した
10. 仕事用の事務所を、家賃等の安いところに移転した
11. 仕事用の電話や、事務所の電気・ガス・水道等を止められた
12. 上記のような経験は、一切ない

**Q25** あなたの最終学歴をお答えください。

（回答は1つ）

1. 中学校卒
2. 高校卒
3. 専修・各種学校卒
4. 短大・高等専門学校卒
5. 四年制大学卒
6. 大学院修了

**Q26** 現在の、あなたの婚姻状況（事実婚含む）をお答えください。

（回答は1つ）

1. 既婚（配偶者あり）※事実婚含む
2. 既婚（離別・死別）
3. 未婚

**Q27** **現在**、生計を同一にしている子どもはいますか。  
（回答は1つ）

1. いる
2. いない

Q27の1はQ27\_1

**Q27\_1** Q27で「いる」とお答えの方におたずねします。  
生計を同一にしている末子の年齢をお答えください。  
（回答は半角数字で入力）

末子は満  歳

**Q28** **現在**、あなたは、育児や介護、病気（通院）、障がい等、フルタイム勤務が難しいご事情をお持ちですか。  
（回答は1つ）

1. はい
2. いいえ

**Q29** 昨年1年間（2019年1月1日～12月31日）の、下記の年収（税込）と、世帯全体（配偶者等の収入を含む）の年収（税込）をお答えください。

※世帯全体の年収については、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めてください。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- （1）ご自身の年収
- （2）夫婦の年収（自身と配偶者の年収の合算）
- （3）世帯全体の年収（すべての世帯員の年収の合算）

===== 選択肢 =====

1. ない
2. 100万円未満
3. 100万円以上、200万円未満

4. 200万円以上、300万円未満
5. 300万円以上、400万円未満
6. 400万円以上、500万円未満
7. 500万円以上、600万円未満
8. 600万円以上、700万円未満
9. 700万円以上、800万円未満
10. 800万円以上、900万円未満
11. 900万円以上、1,000万円未満
12. 1,000万円以上、1,200万円未満
13. 1,200万円以上、1,500万円未満
14. 1,500万円以上、2,000万円未満
15. 2,000万円以上
16. わからない

Q30 昨年のご自身の年収（税込）と比較して、本年1年間（2020年1月1日～12月31日）の年収（税込）は、どうなる見込みですか。

（回答は1つ）

※非課税の給付金等は含めないでください。

【減少する】

1. 1～2割
2. 3～4割
3. 5～6割
4. 7～8割
5. 9割以上

【増加する】

6. 1～2割
7. 3～4割
8. 5割以上

9. 昨年は年収なし

10. ほぼ同じ（変動は1割未満）

11. 未定・わからない



Q31 あなたの家計は、どのようにまかっていますか。  
本年1月1日時点と現在についてお答えください。

(回答は主なもの3つまで)

===== 項目 =====

- (1) 本年1月1日時点
- (2) 現在

===== 選択肢 =====

1. あなたご自身の勤労収入
2. 配偶者の収入
3. 親の収入
4. 子どもの収入
5. 預貯金（退職金含む）の取り崩し
6. 年金
7. 銀行や消費者金融からの借入れ
8. 公的助成（助成金、失業手当、生活保護等）
9. その他

Q31\_1 家計の支え手や家計をまかなう方法が変化したのは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものですか。

(回答は1つ)

1. はい
2. いいえ

Q32 過去3カ月間の、あなたの世帯全体の家計収支は、以下のどれに当てはまりますか。

(回答は1つ)

1. かなり黒字（収入が支出をかなり上回る状況）
2. やや黒字（収入が支出をやや上回る状況）
3. 収支トントン
4. やや赤字（支出が収入をやや上回る状況）
5. かなり赤字（支出が収入をかなり上回る状況）
6. わからない

Q33 あなたやあなたの世帯では、新型コロナウイルス感染症の問題に伴う収入減少や将来不安のために、切り詰めたり、あきらめたりしている支出がありますか。

Q31や(1)の選択肢#(2)の選択肢はQ31\_1

(回答はいくつでも)

1. 外食費
2. 家での食費
3. 嗜好品代 (酒、タバコ、菓子など)
4. 光熱・水道費
5. 衣料品代
6. 理容・美容にかかる費用
7. 医療費 (医薬品の購入を含む)
8. 趣味・レジャーの費用
9. ガソリン代
10. 通信費 (電話、インターネットなど)
11. 交際費
12. 住宅の購入やリフォーム
13. 家賃 (引っ越しを含む)
14. 自動車の購入 (買替えを含む)
15. 家具や家電製品の購入 (買替えを含む)
16. 保険の契約
17. 将来に備えた預貯金や資産投資
18. 自己啓発・キャリアアップの費用
19. 子どもの教育費 (進学、塾、習い事)
20. いずれも、切り詰めたり、あきらめたりしていない

Q34 あなたの生活時間についてお答えください。あなたが平日、下記に費やす時間の長さは、新型コロナウイルス問題の発生前、どれくらいでしたか。

(それぞれ回答は1つ)

※まったくしていない場合は「0分」としてください。

===== 項目 =====

- (1) 平日の1日当たりに、炊事、洗濯と掃除をこなす家事時間
- (2) 平日の1日当たりに、子どもの世話 (衣食の世話、遊び相手、勉強の面倒見など) にあてられる時間
- (3) 平日の1日当たりに、自身の自由になる時間
- (4) 平日の1日当たりの睡眠時間

===== 選択肢 =====

- |            |   |                 |   |           |
|------------|---|-----------------|---|-----------|
| 1. 0分      | } | (4) には非表示       | } | (3) には非表示 |
| 2. 30分未満   |   |                 |   |           |
| 3. 1時間未満   |   |                 |   |           |
| 4. 1.5時間未満 |   |                 |   |           |
| 5. 2時間未満   |   |                 |   |           |
| 6. 2.5時間未満 |   |                 |   |           |
| 7. 3時間未満   |   |                 |   |           |
| 8. 3時間以上   |   |                 |   |           |
| 9. 4時間未満   |   |                 |   |           |
| 10. 5時間未満  |   |                 |   |           |
| 11. 5時間以上  | } | (1) と (2) には非表示 | } | (3) には非表示 |
| 12. 6時間未満  |   |                 |   |           |
| 13. 7時間未満  |   |                 |   |           |
| 14. 8時間未満  |   |                 |   |           |
| 15. 8時間以上  |   |                 |   |           |

Q34\_1 あなたの生活時間についてお答えください。あなたが平日、下記に費やす時間の長さは、新型コロナウイルス問題の緊急事態宣言期間中、どれくらいでしたか。  
(それぞれ回答は1つ)

※まったくしていない場合は「0分」としてください。

===== 項目 =====

- (1) 平日の1日当たりに、炊事、洗濯と掃除をこなす家事時間
- (2) 平日の1日当たりに、子どもの世話（衣食の世話、遊び相手、勉強の面倒見など）  
にあてられる時間
- (3) 平日の1日当たりに、自身の自由になる時間
- (4) 平日の1日当たりの睡眠時間

===== 選択肢 =====

- |            |   |           |
|------------|---|-----------|
| 1. 0分      | } | (4) には非表示 |
| 2. 30分未満   |   |           |
| 3. 1時間未満   |   |           |
| 4. 1.5時間未満 |   |           |
| 5. 2時間未満   |   |           |
| 6. 2.5時間未満 |   |           |
| 7. 3時間未満   |   |           |

- |           |   |                 |   |           |
|-----------|---|-----------------|---|-----------|
| 8. 3時間以上  | } | (4) には非表示       | } | (3) には非表示 |
| 9. 4時間未満  |   |                 |   |           |
| 10. 5時間未満 | } | (1) と (2) には非表示 |   |           |
| 11. 5時間以上 |   |                 |   |           |
| 12. 6時間未満 |   |                 |   |           |
| 13. 7時間未満 |   |                 |   |           |
| 14. 8時間未満 |   |                 |   |           |
| 15. 8時間以上 |   |                 |   |           |

Q34\_2 あなたの生活時間についてお答えください。あなたが平日、下記に費やす時間の長さは、現在どれくらいですか。

(それぞれ回答は1つ)

※まったくしていない場合は「0分」としてください。

===== 項目 =====

- (1) 平日の1日当たりに、炊事、洗濯と掃除をこなす家事時間
- (2) 平日の1日当たりに、子どもの世話（衣食の世話、遊び相手、勉強の面倒見など）  
にあてられる時間
- (3) 平日の1日当たりに、自身の自由になる時間
- (4) 平日の1日当たりの 睡眠時間

===== 選択肢 =====

- |            |   |           |   |           |
|------------|---|-----------|---|-----------|
| 1. 0分      | } | (4) には非表示 | } | (3) には非表示 |
| 2. 30分未満   |   |           |   |           |
| 3. 1時間未満   |   |           |   |           |
| 4. 1.5時間未満 |   |           |   |           |
| 5. 2時間未満   |   |           |   |           |
| 6. 2.5時間未満 |   |           |   |           |
| 7. 3時間未満   |   |           |   |           |
| 8. 3時間以上   |   |           |   |           |
| 9. 4時間未満   |   |           |   |           |
| 10. 5時間未満  |   |           |   |           |
| 11. 5時間以上  |   |           |   |           |
| 12. 6時間未満  |   |           |   |           |
| 13. 7時間未満  |   |           |   |           |
| 14. 8時間未満  |   |           |   |           |
| 15. 8時間以上  |   |           |   |           |

Q35 下記について、あなたは現在どれくらい不安を感じていますか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 感染の収束が見えないこと
- (2) 自身の感染
- (3) 収入の減少に伴う生活への支障
- (4) 今後1年くらいの間での失業・失職
- (5) 勤務先の倒産
- (6) 経済情勢の悪化

===== 選択肢 =====

- 1. かなり不安
- 2. やや不安
- 3. あまり不安はない
- 4. 全く不安はない
- 5. わからない

Q36 ご自身の仕事や生活全般に対する満足度を、新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前後でお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

新型コロナ問題の 発生前

- (1) ご自身の仕事について
- (2) 生活全般について

新型コロナ問題の 発生後(現在)

- (3) ご自身の仕事について
- (4) 生活全般について

===== 選択肢 =====

- 1. かなり満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. かなり不満

Q37 あなたの生きがいを、新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前後でお答えください。

(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナ問題の 発生前
- (2) 新型コロナ問題の 発生後 (現在)

=====選択肢=====

- 1. 仕事
- 2. 家庭（子や孫を含む）
- 3. 余暇、趣味
- 4. ボランティアや地域活動
- 5. その他（左記以外）
- 6. 特にない

**Q38** あなたの性格についてお答えください。下記の項目はどの程度、あなた自身の性格に当てはまりますか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 活発で、外交的だと思う
- (2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う
- (3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う
- (4) 心配性で、うろたえやすいと思う
- (5) 新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う
- (6) ひかえめで、おとなしいと思う
- (7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う
- (8) だらしなく、うっかりしていると思う
- (9) 冷静で、気分が安定していると思う
- (10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う
- (11) 仕事の進め方は自分で決めるよりも上司に決めてもらいたい方だと思う
- (12) 仕事はチームでわいわいやるよりも、一人でもくもくと進める方だと思う

=====選択肢=====

- 1. 強くそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. 少しそう思う
- 4. どちらでもない
- 5. 少し違うと思う
- 6. おおよそ違うと思う
- 7. 全く違うと思う

**Q39** 新型コロナウイルス感染症の問題をきっかけの一つとして、日本的な働き方の見直しが更に

進むのではないかとの見方もあります。今後の働き方のありようとして、あなたは次の A⇔B  
どちらがより望ましいと思いますか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

左側：

- (1) A.1つの企業に、出来るだけ長く勤められる（雇用保障）環境を維持すること
- (2) A.様々な仕事内容を任される、企業のメンバーとして雇用されること
- (3) A.勤続や経験年数とともに、収入が増えたり、役職が上がっていくこと
- (4) A.企業内の配置転換や与えられる仕事の経験を通じてキャリアを積むこと
- (5) A.主たる仕事に専念する（させる）こと
- (6) A.労働時間は企業の管理に従うが、原則として労働時間の長さに応じた収入が得られること
- (7) A.テレワークが可能でも、頻繁にオフィスに出勤できる範囲に居住すること

右側：

- (1) B.労働市場を流動化し、転職しやすい環境にすること（場合によっては、雇用保障が無くなること）
- (2) B.仕事の内容（ジョブ）を明記・限定し、その仕事が続く限りは雇用されること
- (3) B.実際に発揮した能力や成果で収入が増えたり、役職が上がっていくこと
- (4) B.企業にかかわらず自律的に、仕事やキャリアを選択すること
- (5) B.副業・兼業をしやすいこと
- (6) B.労働時間管理は自身の裁量に委ねられるが、収入は必ずしも、労働時間の長さ  
に依らないこと
- (7) B.テレワークを前提に、地方も含めて居住地にこだわらないこと

=====選択肢=====

1. A
2. どちらかという A
3. どちらともいえない
4. どちらかという B
5. B